

ナタネ新品種「ペノカのしずく」の特性

福島県農業総合センター 作物園芸部 畑作科

1 部門名

普通畑作物－その他－品種

2 担当者名

齋藤正明、木田義信

3 要旨

福島県での栽培に適するナタネ優良系統を選定するため、品種・系統の栽培試験を行い、農研機構東北農業研究センター育成の「ペノカのしずく」（旧系統番号 東北 105 号）の地域適応性を確認し、その品種特性を明らかにした。

- (1) 「ペノカのしずく」は、「キザキノナタネ」と比較して成熟期は同程度で、草丈が高く、菌核病耐性は同程度である。子実重は「キザキノナタネ」と同等～多く、千粒重は同程度で、含油率は同等～多い(表 1)。
- (2) 「ペノカのしずく」はダブルローナタネ（エルシン酸およびグルコシノレート含量が少ない）品種で、ナタネ粕を飼料に利用可能である。
- (3) 種子は農研機構に問い合わせのこと。

(<https://www.naro.affrc.go.jp/collab/breed/index.html>)

表 1 生育、収量・品質調査

品種名	草丈 (cm)	穂長 (cm)	一次分枝 数(本)	成熟期 (日)	倒伏 程度	菌核病 耐性	子実重 (kg/a)	同左比(%)		千粒重 (g)	容積重 (g/L)	含油率 (%)
								対キザキノナタネ				
ペノカのしずく	149	60	9.7	-3~+2	無	無~微	35.4	106		3.9	680	43.7
きらきら銀河	148	72	11.0	-4~-2	無	無~少	27.6	83		3.0	675	46.9
キラリボシ	142	63	10.0	-9~-2	無	無~少	23.2	70		3.2	664	41.3
キザキノナタネ	140	65	8.9	0	無	無~少	33.3	(100)		3.9	693	42.1

注 1：草丈、穂長、一次分枝数、子実重、千粒重および容積重は2017年～2019年の平均値

注 2：倒伏程度は6段階評価：甚・多・中・少・微・無

注 3：菌核病耐性は6段階評価：甚・多・中・少・微・無

注 4：含油率は2017年値

注 5：成熟期はキザキノナタネに対する日数(2017年～2019年)

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成 29～令和元年度
- (2) 研究課題名 地域性を活かしたナタネ優良品種の選抜と栽培体系の確立

5 主な参考文献・資料

- (1) プレスリリース（研究成果）北海道・東北地域に適したダブルローナタネ新品種「ペノカのしずく」（農研機構、2021年）

https://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/press/laboratory/tarc/137081.html

- (2) 品種登録出願公表日 令和 2 年 8 月 3 日